



# 京都教区時報



第165号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵田町26 Tel 822-7123

日本カトリック司教常任委員会は  
1月17日の湾岸戦争が始まったこと  
を非常に憂慮し、日本の教会全  
員で平和を求めて真剣な祈りを献  
げようと呼びかけています。

主日、平日のミサにおいて、また  
家庭、職場において可能な方法で  
皆で心を合わせて祈りましょう。

日本カトリック司教常任委員会



一九九一年 復活教書

平和がきますように

御国がきますように

京都司教 ライムンド 田中健一

今、世界は大なる恐れと不安の中に「湾岸戦争」についてかたずを  
のんで見守っています。

平和は福音の内容です。自由、平等、愛、正義のいずれかを犯される  
とき、平和はおびやかされます。もちろん、実際に武器をとって戦って  
いる所に平和はありません。戦争がなくても、人権や人命が非常な危険  
にさらされているとき、平和ということにはなりません。

政治的、経済的な摩擦が宗教的、民族的摩擦へと発展し、油は火に燃  
えあがりはじめました。

今、私たちは何をすべきでしょうか。そこで、私は3つのことをまず  
申しあげたい。

一つめは司教団の要請に応え、共に平和のために祈ること。

二つめは戦争の犠牲となった避難民をアンマンからカイロに送る民間  
機チャーターの資金援助をすること。

三つめは自分たちの生活の見直しをすること。

祈ることについて

私たちが祈るのは、戦争の終結と言うさしせまった平和のための祈り  
であって、それは多国籍軍の勝利とか、イラクの勝利とかを祈るのでな  
く、またどちらかの改新を求めたとしてもなく、共に歩みより、共に終結  
するよう努力し平和を実現するためであります。これはとても人間的な  
表現ですが、神様は非常に困ってらっしゃる。双方から訴えが来て、双  
方から正しいと主張され、双方から相手を持ちか減ぼしてしまってください  
いと切実な祈りがとどく。どちらに肩を持つべきか悩まれるでしょう。

戦争を起こしたことについて神様に責任や、不平、不満をどう前に、  
悪いことをして申し分けないとあやまらねばならない。それはイラクと  
アメリカの指導者にそれを言わせるのではなく、私たちみな特に自分の  
豊かな利己的な生き方をする我々みなを許しをこわねばならないと思っ  
たのです。

祈るだけではだめだという人がいます。たしかにその通りです。しか  
し胸をうちつつ祈らねばならない。自分たちでしかしてどうにもなら  
なくしてしまったことを、あやまりながら祈らねばならない。ときには  
もう祈って、神の助けを願うよりほかにないときだっているのです。

平和のために祈ります。

広島あの教皇様のメッセージと共に祈ります。戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。

神よ私の声を聞いてください。それは個人の間、または国家の間でなされた、すべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです。私は主がすべての人間の心の中に、平和の知恵と正義の力を兄弟愛の喜びをくださるよう祈ります。

おお、神よ私の声を聞いてください。そして、この世に、あなたの「終りなき平和」をおあたえください。

### 司教団の避難民救援機チャーターについて

お手もとに訴えが届いていると思います。自衛隊機派遣が問題にされています。そこで、私たちは民間機をチャーターすることにしました。アンマンからカイロまで、「ヨルダンロイヤルエアライン」が750万円です。安全に移送してくれます。このことは緊急を要し、賛否を問うている暇がないと判断したからです。みなさまの寛大なご支援をお願いします。司教団としてはできれば2機3機とチャーターしたいと思っております。

### 生活にひびく見直しを

おとなりの韓国で、省エネをはかることを決定しました。車のナンバープレートによって、車に乗ってはいけない日を設けたり、暖房の温度を1度か2度下げるとか、4基あるエレベーターは2基だけ運動させるとか、これは実に大きなヒントになります。

日常生活の中で自分の問題として感じとられ、話し合われ、自分の生

活を見直していく、使い捨てをあたりまえとするぜいたくを考え直し、人命の尊さをあらゆる面で見つめ直してみる事が大切なのではないでしょうか。

この手紙がみなさまのおてもとに届くころには万事解決していることを祈念してやみません。また、たとえその問題がなくなつたとしても、平和のための祈り、平和のための生活と人権を見直していく生き方のその根本的精神はかわることなく、みなさまのお役にたつことと信じております。

戦争や国家的、民族的暴力はあとを断ちません。バルト三国の問題も心痛め、ともに平和解決のための祈りも努力するよう招かれています。

世界にはいたるところで、人権と生命を抑圧されている人々の呻きが聞こえてきます。そのことにも、思いをはせ、心に刻まねばなりません。平和を満喫しているところでも、公害や災害により戦争と同じ「殺人」といつてよいことが、平和の顔のもとに平気で行われています。平和について述べはじめればきりがありません。

### おわりに

フランススコの平和の祈りをもって終わりたいと思います。

わたしをあなたの平和の道具にお使いください……。

この祈りが、すべての人々に完成されていきますように、そして、主の平和がいつも全世界の人々とともにありますように。

# 湾岸戦争に 心をいためておられるみなさんへ

## 海部首相に よせがきを送りましょう

内容——即時戦争中止をアメリカ・イラク  
双方に呼びかけてください。

- 90億ドルの戦費負担撤回
- 自衛隊機の中東派遣計画撤回など

送り先——〒100 東京都千代田区永田町  
2-3-1 首相官邸内  
内閣総理大臣 海部俊樹様

## 平和のための無害 デモ行進にご参加ください

約2週間おきにおこなっています  
コース・日程のお問い合わせは  
『一刻も早い平和を願うカトリックの会』  
カトリックきょうと福音センター内 ☎075(822)7123

湾岸避難民救援実行委員会  
(日本カトリック司教団ほか)  
主催の

## 自衛隊機を 派遣することなく 湾岸戦争による避難民を 非戦闘地域まで 移送するための 民間機チャーター 募金振込先

口座名『湾岸避難民救援基金』  
太陽神戸三井銀行 四谷駅前支店  
普通預金 3363231  
郵便振替 東京0-553902  
☎03(3262)3733・3736(同実行委員会)



## 聖書講座シリーズ

日時 5月8日～10月27日  
夜コース 水曜日 PM 7:30～9:30  
昼コース 木曜日 AM10:00～12:00  
場所 河原町カトリック会館6F  
主催 信徒使徒職委員会

サダム・フセインとブッシュのや  
りとりを聞いてみると、人間うた  
がいはじめるほどごままでいつてし  
まうのかと恐くなる。人間同志  
国同志の信頼関係は、いかに細  
くこわれやすいものか。  
いったい何によってささえられて  
いるのだろうか。  
(公)



アジア交流委員会(KYOSIA)よりお知らせ  
先月号でお知らせしました、バングラデシュ第2回派遣  
は湾岸戦争およびバングラデシュ政権交替による政情不安  
のため審議の結果一時延期することになりました。  
なお、今後のKYOSIAの活動についてはおつてお知  
らせします。  
引きつづきご支援よろしく願います。

アジア交流委員会  
委員長 平 竹 耕 三

# ナイスに向けての提言

大阪大司教区・司祭有志生涯養成Aチーム

この度、司教団はナイスⅡのテーマを「家庭」とし、その具体的歩みをはじめました。ナイスの歩みを日本の教会の刷新運動と位置づけ、協力してきた私達にとってこのテーマは意外であったばかりではなく、方法によってはナイスの歩みが後退する危険性もあると考え、以下のことを提案したいと考えました。

話し合い、意見ください  
時報は聴きます

ここに掲載したものは、大阪大司教区、司祭有志生涯養成Aチームの意見です。みなさま、この提言についても何でもご意見下さい。

ナイスⅡでは各論には入らず、あくまでもナイスの“歩み”そのものの評価と今後の課題の確認に徹する。

## 〔理由〕

1. 家庭の問題は今迄も何回も取り上げられた。今ナイスという視点のなかで取り上げるとはどういうことかがはっきりしていない。このまま「家庭」というテーマに入っていけばナイスの歩みとは関係なく各論に入ってしまうのではないか。
2. 「家庭」「青少年」などの個別の問題は、ナイスの視点のもとに、それを扱うべき場(レベル)でそれぞれに取りくんでいくと理解している。今回のナイスで「家庭」という個別の問題を取り扱った場合、それによって今後のナイスが個別の問題を順番に扱っていくという性格のものになってしまうのではないか。
3. 「家庭」は非常に具体的でまたいろいろな難しい問題も含んでおり、扱い方をよほど注意しないと信徒の切実な声や要求が体制としての「教会」にこたえを求めていく形を取り始めてしまうであろう。もし、答えに窮する教会が従来の教えを堅持して終るようなことでもなれば、ナイスの歩みは一気に後退するであろう。
4. ナイスの動きは少しずつでも浸透してきているが、かつての方向に戻そうとする動きも同時に出てきている。ある意味で非常に重大な正念場を迎えているともいえよう。ナイスの意義が定着するか否かの局面を迎えている。この時に「家庭」を扱うことはナイスをばかしてしまう危険性があるのではないか。

以上のような理由で、ナイスではやはり「家庭」という個別の問題を取り扱わず、日本の教会の歩み始めた方向を推しすすめる性格を持たせたいと願う。すなわち司教団が出した「基本方針と優先課題」から始まった日本教会の刷新の歩みは、ナイスを経て現在までどんな実りをもたらしたのか、そしてこの方向を推し進めていくうえで何が良くて何が問題だったのかを教会全体で確認するいわゆる「公会議」のような性格をナイスに持たせ、個別の問題はそれぞれのレベルで取り扱っていくことが望ましいと考えた。

尚、「家庭」については重要な問題なので、「司教団としての取り組み」の一つとして全国規模で行ない、ナイスⅡはその結果も踏まえたくて先送りをして実施することも考えられるであろう。

1990年12月2日

カトリック大阪大司教区・司祭有志

生涯養成Aチーム

# お知らせ

## 教区スケジュール

### 3月

- 1日 世界婦人祈祷日
  - 3日 結婚相談室開設
  - 7日 司祭評議会
  - 10日 修女連總會
  - 16～17日 黙想会(伏見教会)
  - 16～17日 部落問題委員会合同宿
  - 21日 司祭叙階式
  - 21日 教会学校教師会総会
  - 22日 カトリック幼稚園連盟研修会
  - 23日 正義と平和協議会学習会
  - 27日 聖香油ミサ・教会奉仕者  
選任式・講演会
  - 31日 子羊会例会
  - 31～2日 教区中学生合宿
- 4月
- 2～4日 京都南部高校生会合宿
  - 5～7日 カトリック・スカウト  
宗教トレーニングキャンプ
  - 7日 結婚相談室開設
  - 12～14日 マリッジ・エンカウンター
  - 20～21日 青年センター運営委員会
  - 21日 正義と平和協議会交流会
  - 28日 子羊会例会
  - 29日 南山城近隣小教区  
合同運動会

### ▼部落問題委員会

#### 合宿のお知らせ

日時 3月16日(土)AM12時～  
17日(日)PM1時まで  
場所 河原町カトリック会館  
テーマ 宣教の中心としての  
部落問題

——私たちの解放をめざして——  
講師 栗花 照夫氏(四国学院大)  
会費 個人参加3,000円  
団体援助のある方2,000円

▼自らの体験の中から解放の神学を学び、イエスが宣教の中心とした「罪人」とは誰か、天皇制、預言的原理など、私達に福音の新しい視点を投げ掛けてくださいます。  
主催 部落問題委員会  
☎075(223)2291

### ▼司祭叙階式のご案内

——ステファノ北村善朗神学生の叙階式があります。お祈りください。  
日時 3月21日(木)PM1時～叙階式  
PM2時半～パーティー  
場所 河原町教会

### ▼正義と平和協議会

講演会のご案内  
日時 3月23日(土)PM7時～  
場所 河原町カトリック会館6階  
テーマ「おじいさん」の語る天皇制  
講師 横川澄夫師(バプテスト連盟牧師)  
会費 無料

主催 京都正義と平和協議会  
☎075(223)2291

### ▼教会学校教師会総会のお知らせ

日時 3月21日(木)AM10時半～  
場所 河原町カトリック会館6階

### ▼聖香油ミサと講演会のご案内

日時 3月27日(水)AM10時～講演  
AM11時45分～ミサ  
場所 河原町教会  
講演会テーマ「福音宣教は家庭から」  
講師 小田武彦師

ミサの中で福岡・森田両神学生の教会奉仕者選任式があります。

## カトリックきょうと福音センター 連続講座のご案内

- 西野神父のきょうしつ「くらし」  
第5回「水について」3月13日(水)  
AM10時半～AM12時
  - 第6回「下水処理場見学」4月17日(水)
  - 書道教室・毎週金曜日PM1時半～4時半
  - 手話教室・毎週火曜日AM10時～AM12時
- 中福と福きょうと、カトリック会館でおたずねください。  
☎075(822)7123

### ▼信徒使徒職養成コースのご案内

第82回 祈りのコースI  
日時 4月27日(土)PM3時～29日(火)PM4時  
場所 ウィチタの聖ヨゼフ本部修道院  
費用 16,000円

第83回 祈りのコースII  
日時 5月24日(金)PM3時～26日(日)PM4時  
場所 ウィチタの聖ヨゼフ本部修道院  
費用 16,000円

第84回 祈りのコースI  
日時 9月14日(土)PM3時～16日(日)PM4時  
場所 桐生フランシスコ修道院  
費用 16,000円

第85回 基礎コース  
日時 10月10日(木)PM5時半～13日(日)PM4時  
場所 桐生フランシスコ修道院  
費用 20,000円

第86回 病人司牧コース  
日時 11月22日(金)PM3時～24日(日)PM4時  
場所 奈良野外礼拝センター  
費用 16,000円  
10月31日 定員30名

### ▼古屋司教様追悼ミサ

日時 3月23日(土)AM10時～  
場所 河原町カトリック教会